

「農の学校」15人終了　日野市　援農に期待

日本農業新聞掲載日：令和7年12月27日（土）

日野市の第21期援農市民養成講座「農の学校」は12月中旬、日野市立七ツ塚ファーマーズセンターで修了式を開いた。

校長を務める日野市の古賀壮志市長が、受講生15人に修了証書を授与。JA東京みなみの中村朗常勤監事が記念品の採果ばさみを贈った。

受講生は援農ボランティアとして活動するため、1月の開校式からジャガイモなど10種類以上の野菜を畑で育てた。くわの使い方など基礎から農業を学び、正しい知識を身に付けた。今後は「NPO法人日野人援農の会」に加入し、市内で活躍する。

古賀壮志市長は「農の学校で得た知識を生かし、援農ボランティアとして農家の助けとなり、農業を支えてほしい」と話した。



修了証書と記念品を受け取る受講生（東京都日野市で）